

令和3年度 スタート!!

▲ 松源寺(3 / 31)



▲ 龍嶽寺(3 / 31)

新遊具が完成した
リフレッシュパーク下條
(3 / 31)

 しもじょうむら

2021年(令和3年)4月15日

8号

議 会 だ よ り

令和3年度予算可決2~4ページ
第1回定例会議会概要5~6ページ
一般質問7~9ページ

委員会活動より・議員研修会10ページ
三遠南信サミットオンライン参加 ...11ページ
議会カレンダー11ページ
広域連合議会定例会より・編集後記.....12ページ

令和3年3月議会で 令和3年度予算を可決しました

令和3年度予算は、将来に向けた投資的経費の増により、過去20年間で最も大きな予算規模25億9000万円（前年度より8000万円増・前年比3.2%増）となります。

●持続可能な村づくりとして

飲料水兼用耐震貯水槽の建設、農作物用の低温貯蔵倉庫の設置、橋梁補修工事・村道法面調査の実施、健康長寿を目指す村民の健康維持のための事業検討等に取り組む。

●新型コロナウイルス対策費は総額5392万円

漏れのないワクチン接種への取り組み、感染防止・検査体制の充実、プレミアム率30%の商品券

●発行

●移住定住・交流促進事業の推進
コロナ感染の状況をみて、移住定住フェアを通じて促進を図る。
移住環境を整えるため「空き家解体」に対する支援を行う。

●地域ブランド推進事業の推進

NPO法人「元氣だ下條」と連携しブランド化を推進。
親田辛味大根の品質確保と安定生産に向け推進を図る。

●子育て・教育環境整備の充実

B&G海洋センター 体育館のリニューアル改修の実施。
急速な学校ICT化に対応するため、ICT支援員を配置。



議会は、昨年12月末
新年度予算に対する
提言を行っています。

：：提言より抜粋：：

★新型コロナウイルス対策について
感染拡大の状況に応じた検査の拡大、村民や村内事業者に対する支援の継続を求める。

★移住定住施策について
定住促進住宅の新築と土地取得に対する年齢制限および補助金の上限の見直しを求める。

★産業振興について
農業者への経済的負担を軽減するための農業用水等に対する補助制度の充実を求める。

★福祉健康施策について
福祉バスの小型車両導入や路線の見直し、こどもや村民が集う場所としてのこどもカフェ（こども食堂）開設への支援を求める。

新年度予算の審議に先だち、各課による「予算説明会」が開催されています。ここではそのなかでの質疑の内容の一部を紹介します。

Q 飲料水用貯水槽の規模・浄化方法は、貯めた水はどのように運ぶのか？

A 規模は100㎡程度を想定して予算計上している。必要時にすぐ対応できるよう村営水道を活用した循環式を予定している。
500kgの給水タンクが3基あり軽トラで運べるようにしている。応援協定で4トン給水トラックを借りることも可能となっている。（総務課）

Q 空家対策事業推進基金はどのような解体が条件となるのか、対象者や補助率は？

A 運用にあたっての要綱を整備しているところだが、除却に対して1/4補助で上限は100万円。あくまで有効活用のための除却工事に補助するもので、次にあらたに売却する予定がある場合等に限っている。空家の持ち主の何親等まで対象にするかなど、詳細を検討している。（総務課）

Q 村の公共施設の太陽光発電の売電状況は、余剰売電の状況は？

A 集合住宅は全量売電で20年間44円という単価で販売している。いきいきらんど、役場庁舎、中学校は余剰売電で、10年間の契約となっている。中学校には蓄電池を設置してあり災害時に使える。売電価格の低下もあり、余剰の出る施設では蓄電池の設置も検討していく。（総務課）

Q コロナの影響で母子手帳の発行数が少ないと聞いているが、下條村でも妊娠数が減っているか？

A コロナの影響で妊娠が減っているということはないと思う。感染の不安から、大きな病院での出産が怖いという方には助産院を紹介している。（福祉課）

Q 結婚新生活支援事業補助金は、村の転入された方のみが対象か？

A 転入者が対象で転出の方は対象とならない。また、年齢要件が39歳まで、所得要件が540万円以下となる。引越費用や家賃に対して一人につき1回補助金を出す。令和3年度は2人分を想定している。（福祉課）

Q 阿南町の株KOAから購入するマスクの使い道は、一般村民への配布はあるのか？

A 非常時のための備蓄として考えており、一般の方への配布は考えていない。ただ、消費期限もあるので、期限の近づいた段階で処分のための配布も検討してまいります。（総務課）



第1回 下條村議会定例会

◎あらたに「空家対策事業推進基金条例」を制定！
 ◎コロナウイルス感染症の影響が色濃い最終補正に。

会期 3月10日から
3月24日まで

●下條村空家対策事業推進基金条例の制定
 後継者の転出等により居住してない空家、適切な管理がされず防災／衛生／景観など地域住民の生活環境に影響を及ぼす空家の増加を防ぐため、早めに適切な措置を講じ、有効活用を推進する財源として基金を創設、当初の基金積立額を1億円とし、来年度以降の除却補助や改修補助等の財源として活用する予定。(可決)

▼一般質問は、議員6名より
 初日に行われた一般質問はP7以降に詳細が掲載されています。

●特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正
 令和3年度の報酬について村長が本則に対し2.35%減、副村長が1.85%減、教育長が1.85%減の減額率で前年と変わらず。期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。(可決)

▼条例の改正
 ●下條村情報公開条例の一部改正
 情報公開を請求できる範囲を見直し「何人も公開を請求することができる」とする改正。(可決)

●下條村介護保険条例の一部改正
 第8期介護保険事業計画策定懇話会で承認された令和3～5年度の65歳以上の村民が納付する第1号介護保険料額の変更を行うもの。全9段階の設定で標準段階(第5段階)の月額保険料は6024円。(可決)

●下條村国民健康保険条例の一部改正
 新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対する傷病手当金の支給に関して定義の一部を改正する内容。(可決)

●下條村福祉医療支給条例の一部を改正する
 中学校卒業までの現物給付受給者に係る柔道整復施術医療費についても現物給付方式を導入する等の内容。(令和3年8月から)(可決)

●下條村内にある介護に係る施設について
 「下條村指定地域密着型サービス」、「下條村指定地域密着型介護予防サービス」、「下條村指定介護予防支援等の事業」、「下條村指定居宅介護支援等の事業」について、各施設の事業者及びその従業員等に対する利用者への虐待防止、事業所内におけるハラスメントの防止等の項目を改正する内容。(可決)

●一般会計(第七号補正)
 「歳入歳出それぞれ2480万円を増額」
 総額37億9000万円

●補正予算
 ○一般会計(第六号補正)の専決処分の承認
 「歳入歳出それぞれ220万円を増額」
 総額37億6520万円

令和3年第1回定例会は、3月10日に召集され、24日までの15日間の会期で行われました。一般会計補正の専決処分の承認が1件、条例の新規制定が1件、条例改正が10件、人事案件が1件、補正予算5件、新年度予算5件、陳情1件が提出され、審議の結果、22件を可決し閉会しました。

期末手当及び費用弁償等に関する条例の一部改正
 現行の第1号会計年度任用職員の期末手当の支給月数を「1.00月」から「一般職と同じ「1.275月」に改正する内容。(可決)

計画策定懇話会で承認された令和3～5年度の65歳以上の村民が納付する第1号介護保険料額の変更を行うもの。全9段階の設定で標準段階(第5段階)の月額保険料は6024円。(可決)

日に任期満了となり後進に譲ることから、3月末に退職となる行政経験豊富な吉村善郎氏が最適任として議会同意を求められた。任期は令和3年4月1日から令和6年3月31日まで(同意)

Q 食育の意味からも地元食材を使うことが大切だが給食の自給率は？

A 給食センター・保育所については、月に2回地産地消の会議を開き、地元野菜の発注の打合せをしている。村・学校の栄養士と生産者の打合せにより、かなり安く入れてもらっている。保育所の給食で使用する野菜の4割近くが下條産となっている。(教育委員会)

Q 保育園園庭の芝生化はどのような方向になったか？

A 保護者も含めて阿智村等への視察・検討を行ったが、芝生化は野芝・西洋芝とも管理が難しいため芝生化は止める。その代わりに園庭のぬかるみがひどいため、飼育小屋の撤去と正門から園舎までの舗装路の整備工事を行うこととした。今後芝生化の要望があれば検討する。(教育委員会)

Q 低温貯蔵倉庫の建設場所、維持管理方法、使用料は？

A 新聞報道にあった親田は候補地のひとつで、そば乾燥調製所横に建設して、そば組合に管理してもらうことも検討している。そば、辛味大根、果樹、栗なども入れられるようにする予定。概算見積りで予算計上し、しっかり精査・提案し承認を得て事業をすすめたい。(振興課)

Q 下條村にはコロナワクチン接種の専門部署がないが、どのような体制をとるのか？

A 村内在住のシステムエンジニアに、村独自の予約管理アプリ作成等の業務を委託している。また、処理能力の高いパソコンを福祉課全職員に配備し、各自予約管理業務にあたる予定であり、臨時職員一名の雇用も予定している。(福祉課)

Q 宅地の災害復旧に対する補助の内容は、村内法面調査とは何か？

A 住宅用地の敷地、裏山、進入道路などを対象とする。年度内に災害が複数回起こる可能性を見て予算計上している。法面調査は村内一円を調査し、直す必要があれば修繕を行いたい。(振興課)



親田辛味大根

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

Q 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の村での対応について

A 村では、中島医院と輝山会下條診療所の2カ所でワクチン接種をすることになっています。ワクチンは、南部ブロックの拠点病院である阿南病院で冷凍保管され、村の職員が村の接種場所に運び、接種希望者に接種を行う事になっています。送迎がないと接種に来られない方については、村の福祉バスや個別の送迎、タクシーの利用を検討します。現在は医療従事者の先行接種がはじまり、その後高齢者への接種が始まりますが、国からは具体的な日程やワクチンの入荷数等が示されておらず、未定な点が多くあるので、今後開催される説明会や会議でひとつずつ確認し、決定された内容は早い機会に正確な情報提供を行い、村内の接種希望者に対して、万全の体制できめ細かな対応を進めていきます。



申原 稔博 議員



ワクチンの保管に用いるクーラーボックス

【歳入の主なもの】
法人住民税及び入湯税はコロナ感染症の影響により減で総額は3億3927万円、地方交付税は増額で総額12億5086万円。繰越金は1億7333万円の増額。
繰越明許費はリニア残土処理用地測量業務委託料、農地・農業施設災害復旧費など16事業、2億1088万円を次年へ繰り越すことになった。

【歳入の主なもの】
介護給付費準備金への積立金として1609万円を計上（介護保険料の上昇抑制のため）等。会計への繰出金を2232万円減額。
基金積立には新たに創設した空家等対策事業推進基金に1億の積立計上等、基金残高の総額は72億2235万円になる見込み。（可決）

【歳入の主なもの】
下條村国民健康保険特別会計（第2号補正）
《480万円の増額》
総額2億7710万円に。
【歳入の主なもの】
国民健康保険税は309万円の増、県費支出金を保険給付費の見直し等によって386万円の増、繰入金は事務費見直し等で全体で240万円の増額など。
【歳入の主なもの】
保険給付費全体では374万円の増額、昨年度の保険給付費交付金の精算による県への返還金146万円など。（可決）

【歳入の主なもの】
下條村介護保険特別会計（第2号補正）
《2500万円の増額》
総額5億300万円に。
【歳入の主なもの】
第1号介護保険料の増のほか、第8期介護保険事業計画期間の保険料負担減額分として介護給付費準備基金へ積立として一般会計から1500万円繰り入れ計上等。
【歳入の主なもの】
施設介護サービス費が1505万円の増額、介護給付費準備金への積立金として1609万円を計上し介護保険料の上昇抑制を行う。（可決）

【歳入の主なもの】
下條村営水道特別会計（第4号補正）
《1900万円の減額》
総額8600万円に。
増、繰越金は432万円の増額。
【歳入の主なもの】
積立金の増により700万円増、トンネル工事に係る水道管移設が次年度となった等のため工事請負費が2400万円の減額。（可決）

【歳入の主なもの】
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書」が長野県医療労働組合連合会より提出されました。民生福祉委員会に付託され審議した結果、時期と目標値に無理があり不採択となり、本会議においても不採択となりました。

議会傍聴をしてみてください

- 普段知ることのできないことを知る機会となりました。住みやすい村にするために自分たちの思いを議員を通じて村に伝えることが大事だと思いました。
- 村の施策や方針を確認する質問より、提案型の質問が印象に残りました。
- 村長の施政方針を生で聞けて良かった。紙面で見るとは雲泥の差でした。
- 初めて傍聴してみてもっと大勢の人が参加すると良いと思いました。子育て中の若い人も傍聴できると良いと思います。
- 子連れの人も傍聴できると良いと思いました。他県ではガラス張りで見える特別傍聴席を設けている自治体があるそうです。



新型コロナウイルス感染予防対策について



田中 兼次 議員



変動する長野県の警戒レベル

Q ①県の警戒レベルで4又は5となった際は今回の対応が基本的な対処となるか。

A 基本的な対応は変わらないが、第1波から第3波の状況を比較すると感染拡大、重症化、クラスター発生の多様化等、行政対応が難しくなっている。国、県の情報を注視し迅速な対応を執っていく。

Q ②村内で2名の感染陽性の公表があったが保健所との連携等、どの様な対応を執られたか。

A 県や保健所からの陽性者情報はプレスリリースのみ。村ではこの情報を受け急遽、感染症対策会議を召集。情報確認と今後の対応を協議し、1月10日夕、音声告知で村長メッセージとして感染予防の徹底、人権的配慮の願い等を発信。住民からのコロナ相談は保健所の相談センターへ。

Q ③感染症拡大防止の為、次年度も状況に応じ検査助成事業は必要では。

A 住民、事業者の声に耳を傾け、きめ細かな対応を行い、検査助成は継続していく。

コロナウイルス感染拡大に伴う経済支援について

Q コロナ第3波により国・県では飲食業者を中心に時短/休業要請を行った。村として飲食業、旅館業に対する経済支援を実施する考えはあるか？

A すでに事業持続化支援金、観光業事業継続支援金等2千万円余の支援をしている。コロナ第3波で事業継続に支障をきたす状況の為、3月に観光業事業継続支援金を6者に総額900万円余を、旅客運輸業・飲食業事業継続支援金を8者に40万円を支給するよう予算計上した。
プレミアム商品券（プレミアム率30%・総額6500万円分・予約販売案内済み）の発行や村民の皆様お一人当たり2千円分を配布するテイクアウトクーポン券等の支援を行います。



申原 肇 議員



販売案内
プレミアム率30%の商品券の

村の農作物等のネット通販について

Q 村の蕎麦・辛味大根や果物等をネット通販する試みへの努力が今後必要と思うが。

A 新型コロナの影響で道の駅関連施設も売上額が前年比80%以上減となる事態です。
今後は観光客が戻ってくる時期を信じダイレクトメールによる注文販売、新聞折込を利用した誘客や販路拡大に力を入れると共に、新商品の開発、首都圏への注文販売やNPO法人「元気だ下條」が企画した年越しそばセットのように様々な戦略を打ち出していきます。
ネット通販の実施については各社の経営方針もありますので村から指示することはありませんが、営業向上に向けたシステム構築等、支援の要望がありましたら検討いたします。



福澤利尚 議員



好評を得た「年越しそば」

子どものための各種支援について



丸山浩子 議員

Q ①こどもカフェ・こども食堂の継続のために支援は可能か？

A 今後、高齢者・障がいのある方等、様々な方々の交流する場になればと考え、いきいきらんどを貸し出す。国・県の補助金・支援金の活用をしながら村からも支援する。教育委員会では平成28年度より村民の自主的な学びや講演に講師を招聘する費用を負担している。

Q ②子育て支援の実情と課題は？

A 福祉課・教育委員会が連携し切れ目なく支援している。子育てネットワーク会議=見守り・支援を情報共有して実施している。「つどいの広場」の充実により就園前の親子が支援員に支えられ安心して子育てできる。課題として学校を終了したから終わりという状況にせず、中・長期的なケアが必要と考える。

Q ③コロナ禍での国連「子どもの権利条約」の確認と検証の提案

A コロナ禍のなか、小中学校の先生方は子どもに寄り添った指導に当たった。子どもたちは日常をほぼ取り戻している。



こども食堂のようす



新型コロナ対策と令和3年度の農業振興について



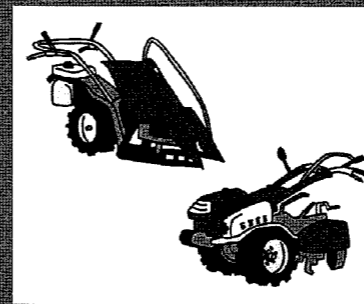
申原寛治 議員

Q ①新型コロナウイルス感染対策について
令和3年度も引き続き福祉施設への感染防止に検査費の補助継続を。また村内事業所などで感染発生時には事業所と協力し従業員への検査費補助をして感染防止の拡大を。

A 福祉施設には継続して補助をします。事業所での感染防止策は事業所独自で行うのが基本です。要請があった場合には検討します。

Q ②令和3年度の農業振興について
農業振興の目標や特徴は？農業機械導入補助制度は青色申告者が対象というハードルが高くないか？兼業農家が多く、農家全てを対象とした機械導入補助制度が必要ではないか？

A 農地の荒廃化を防ぎ、農地流動化を促進し、担い手への農地集積を行います。農業経営の共同化を促進し、意欲ある取り組みをする認定農業者と青色申告者を対象に農機導入費の補助率を高くします。



農機具の助成がパワーアップ

一般質問 (3月)

一般質問 (3月)

民生福祉 委員会 活動より

民生福祉委員会より (3月15日)

新年度予算については議員全員に対し各課から説明がされましたが、各委員会においてもそれぞれ該当する予算について審議しています。ここでは民生福祉委員会の様子をピックアップします。

○介護保険料は3年に一度の改定となる第八期(2021~23)を迎えた。年々2%ほどサービス利用が増えている現状から大幅値上げを抑えるための基金が充分でないため、一般会計から1500万円を繰り入れ、基金積立をして保険料値上げを抑制することを提案しているが、コロナによる経済情勢悪化の中で繰り入れをより増額して保険料を抑えることは出来ないか？

○基準となる第五段階の保険料が月額6024円と段々高額になってきた。介護サービス利用状況の特徴を分析して、再開した介護予防活動に役立てて欲しい。

○国保医療費が増加傾向に変化してきた。受診者枠を拡大した人間ドック受診者数を含め、特定健診受診率をアップさせ、早期発見に努め、増えている糖尿病や脳疾患障害などの予防教室開催により治療につなげて欲しい。

○福祉政策の拠点であるいきいきらんの改修が続いている。施設を検証する中で計画的な改修計画が必要ではないか？

(民生福祉委員長 申原寛治)

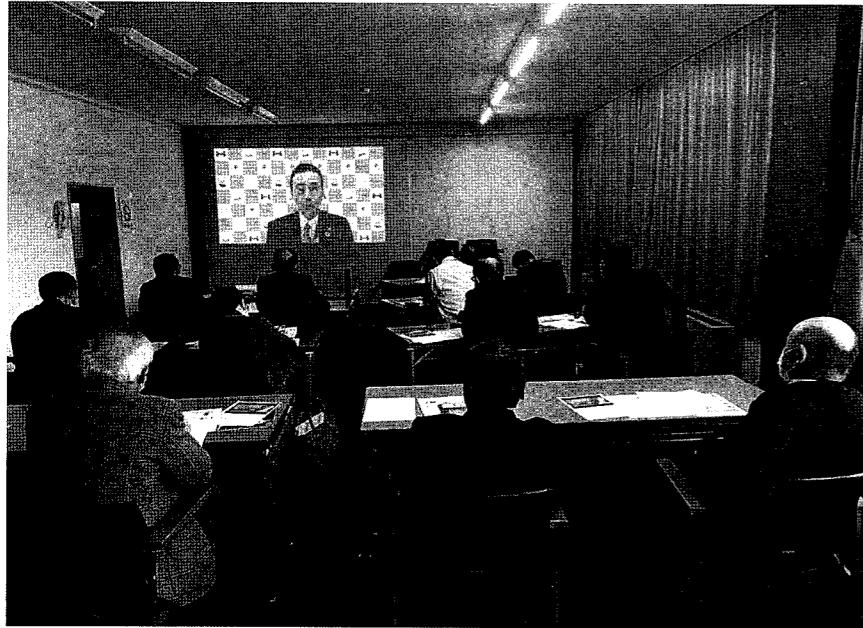
三遠南信サミット オンライン参加

三遠南信地域の一体的振興に向け、浜松市、豊橋市、飯田市の首長、経済関係者が意見交換を行う「第28回三遠南信サミット2021in遠州」が2月15日にオンライン開催されました。「ウィズコロナ時代における、県境連携の両価値化―逆境からの挑戦―」をテーマに、熱気のもったパネルディスカッションが行われました。

推進。
④ 地方移住の流れをチャンスと捉え、定住の環境づくりと企業・人の受け入れ体制づくりを。これらを盛り込んだ「サミット宣言」を採択し終了しました。

③ 域内の多様な観光資源を生かした広域観光プロモーションの

- ① 三遠南信道と浜松三ヶ日、豊橋道路などの交通基盤整備。
- ② 加速するデジタル化と経済モード、安全

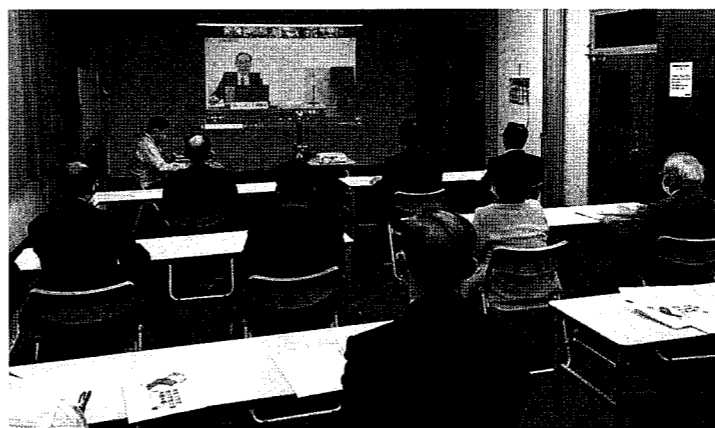


飯伊市町村議会議員研修会に参加しました

1月21日に飯田市議会主催の飯伊市町村議会議員研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大予防のため当初の計画を変更し、議員は各自自治体からビデオ会議システムZOOM(ズーム)の画像と音声でつながる初のオンライン研修会となりました。講師の小西砂千夫教授(関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部)は、「新型コロナウィルス対応と令和3年度の地方財政」と題して講演なさいました。

コロナ対策では地方自治体の貯金にあたる財政調整基金を活用して減らしても、地域経済が正常化した時、どのくらいで元に戻るのかの視点の重要性を指摘し、一般財源の総額については微増と判断。自治体財政の財源不足を補填する仕組みを説明されました。

南信州地域などの広域連携により財源削減ができ、サービスの水準が上がるなど今後の地方財政の可能性を解説されました。

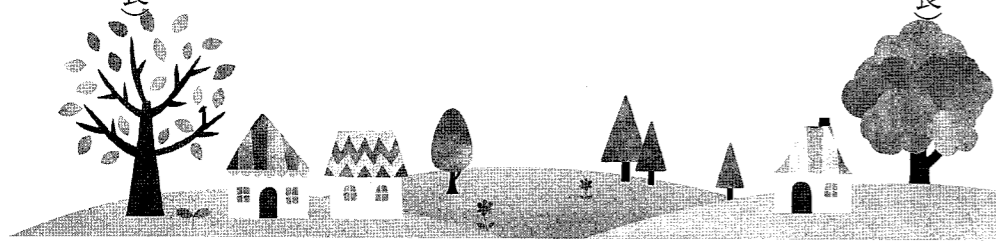


オンライン研修のため、下條村民センターで受講することができました

(申原寛治)

議会カレンダー (過去活動分と今後の予定)

- 1月 (木) 令和2年飯伊市町村議会議員研修会 (全議員 オンライン参加)
 - 2月 (木) 例月監査 (監査委員)
 - 24日 (水) 県議長会総会・書面決議 (議長)
 - 3月 (金) 3月議会 議会運営委員会 (正副議長・各委員長)
 - 9日 (火) 3月議会 補正予算説明会 (全議員)
 - 10日 (水) 令和3年 第1回 議会定例会 初日 (全議員)
 - 11日 (木) 新年度予算説明会・総務課/福祉課 (全議員)
 - 12日 (金) 新年度予算説明会・教 委/振興課 (全議員)
 - 17日 (水) 産業建設・民生福祉委員会 (各委員)
 - 18日 (木) 総務文教委員会 (総務文教委員)
 - 19日 (金) 例月監査 (監査委員)
 - 24日 (水) 令和3年 第1回 議会定例会 最終日 (全議員)
- 今後の予定(変更の可能性あり)
- 4月 (金) 例月監査 (監査委員)
 - 25日 (日) 参議院長野県選出議員補欠選挙投・開票日
 - 27日 (火) 連絡員会
 - 30日 (金) 令和3年 第1回臨時議会
 - 5月 (木) 6月議会 議会運営委員会 (正副議長・各委員長)
 - 8日 (火) 6月議会 補正予算説明会 (全議員)
 - 9日 (水) 令和3年 第2回 議会定例会 初日 (全議員)
 - 16日 (水) 令和3年 第2回 議会定例会 終日 (全議員)



広域連合議会定例会より

令和3年2月26日に南信州広域連合議会第1回定例会が開催され、令和3年度予算その他が承認されました。

令和3年度の予算は総額で39億600万円余となり、そのうち飯田広域消防予算が21億3300万円余、稲葉クリーンセンター予算が1億8300万円余となりました。

また、広域連合に対する下條村の負担は、一般会計が2286万円、飯田広域消防が7162万円となりました。

稲葉クリーンセンター下條村のごみ増加!

下條村のごみ搬入量が27トン増加し、前年比107・91%で、広域連合のなかで最大の伸び率となりました。

プラごみや厚紙などの混入が多く、正しい分別とリサイクルを徹底して行う必要があります。



看護師等確保対策 修学資金貸与事業、応募枠を拡大

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、医療体制の充実を目的として新規貸与枠を5名から10名に拡大。継続貸与者を含め28名分の貸付金1680万円を計上しました。令和2年度は6名が地域内へ就業しました。



広域連合議会管内視察

令和2年10月16日、飯田下伊那管内の視察研修を行いました。視察地は飯田市と大鹿村のリニアのトンネル工事現場、座光寺スマートインター、高森の「かわまちづくり」予定地など、南信州広域圏の将来に大きくかわる重要な施設等であり、あらためて管内の状況について共通認識を深めることができ、有意義な研修となりました。



松川工区の仮栈橋

このうち、下條村への発生土搬入が予定されている中央アルプストンネル松川工区では、松川の河岸の山腹に作られた仮栈橋で、工事概要や施工ヤードの設備について説明を

うけました。現場は妙琴公園などの行楽地であることから、公園利用者の駐車場や民間施設への私道の整備、環境対策など地元対応を丁寧に行っていることを確認しました。

編集後記

一度収束しそうな雲行きだった県内のコロナウイルス感染症ですが、長野市周辺の地域で第4波とみられる感染者の増加が始まってしまいました。

南信の状況は比較的落ち着いてはいますが、県下全体が油断することなく、より慎重に行動することが必要と思われる。同時にワクチン接種が速やかに村民全員に行われることを願うばかりです。

そんな中、令和3年度がスタートしました。4月末には臨時議会を開催して議長の選挙、委員会編成を改めていきます。

議会では今後も皆さんの声を行政に届けたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。(熊谷政孝)

編集委員会

- 委員長 熊谷 政孝
- 副委員長 塩沢 道雄
- 委員 串原 寛治
- 委員 串原 肇
- 委員 丸山 浩子